

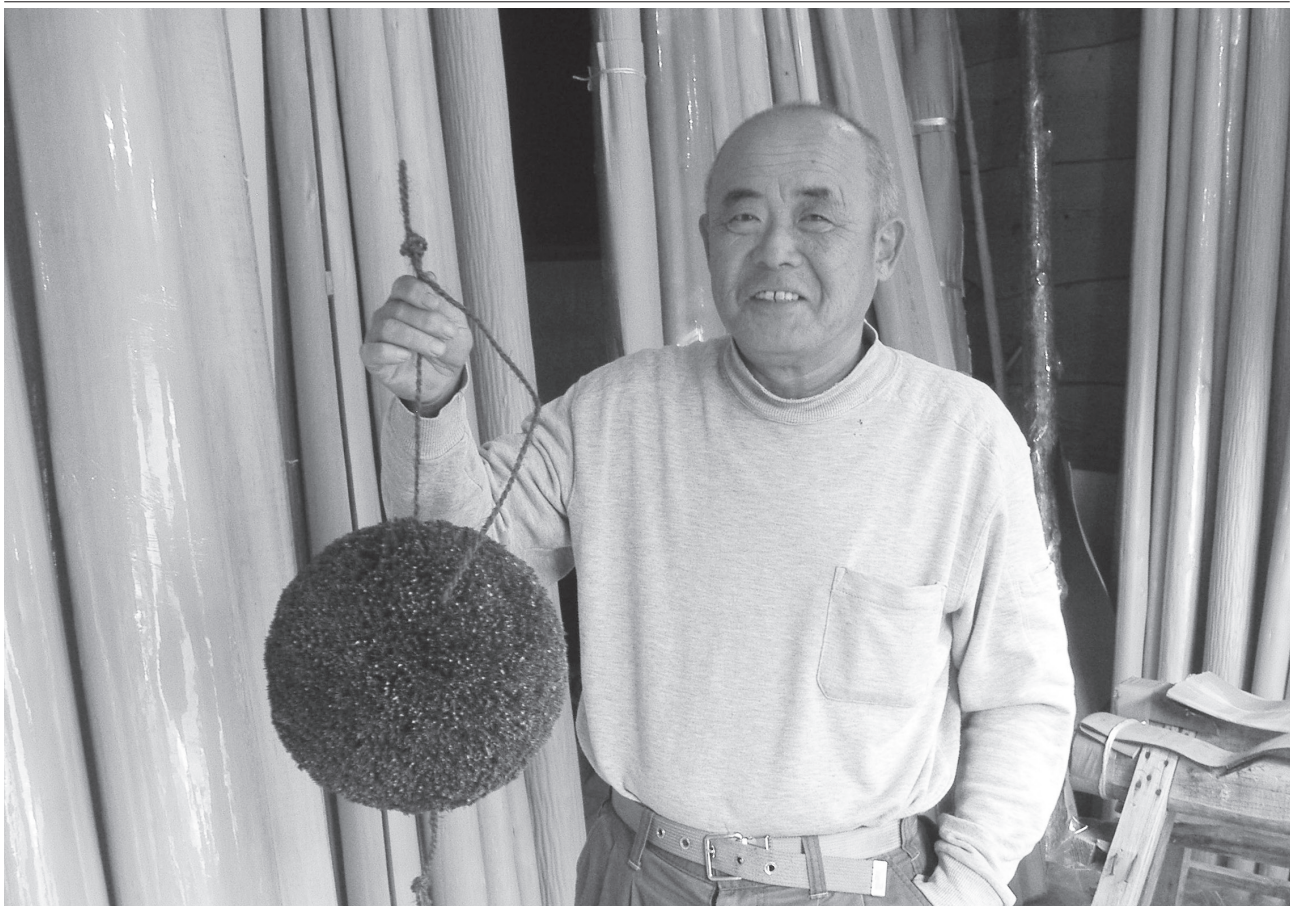


林 声

2016



月号



高梁市で磨丸太を生産している畑 公平（はた こうへい）さんです。この道一筋40年の技と心意気は製品に表れており、苦を惜しまず励んでおられる姿には頭が下がります。本業の磨丸太生産に加え、近年話題の杉玉づくりを通じての活躍ぶりも目を引くところです。（詳細はP 3に記載）

目 次

新年あいさつ	2	技能講習会、イベント情報	11
岡山・森林列伝（畑 公平さん）	3	林産物市況	12
普及指導区の情報（岡山支部）	4	事務局からのお知らせ	14
普及指導区の情報（津山支部）	5		
ニューフェイスです	6		
おかやまグリーンバイオプロジェクト	7		
研究だより（木材加工研究室）	8		
中国・四国ブロックシンポジウムの開催	9		
お知らせ	10		



岡山県マスコット
（ももっち）

新年のごあいさつ



岡山県林業
改良普及協会
会長
井手 紘一郎

新年あけましておめでとうござ
います。

会員の皆様には、輝かしい新春
をお迎えのこととお慶び申し上げ
ます。

また、平素から当会の運営につ
きましては、皆様の格別のご支援
ご協力を賜り、厚くお礼申し上げ
ます。

さて、林業は、木材の生産活動
を通じて循環型社会の形成に寄与
するとともに、水源の涵養、国土
の保全、地球温暖化の防止、生物
多様性の保全などの多面的な機能
の発揮により、私たちの生活に欠
かせない様々な恩恵をもたらして
います。

本県においても、「晴れの国」の
穏やかな気候の下、県内一帯に広
がる多様な森林が、県民の豊かで
快適な生活環境の創造に大切な役
割を担っています。

このような中、林業を取り巻く
環境は依然として厳しい状況です
が、木質バイオマス発電によるエ
ネルギー利用のほか、オリンピック
ク施設や中高層建築への利活用が
期待されているCLT（直交集成
板）など新たな木材利用形態への
取り組みも進んでいるところです。

国では、面的なまとまりをもつ
た森林経営の確立や低コストで効
率的な作業システムの整備・普及
新たな木材需要の創出など、林業
の成長産業化の実現に向けて各種
施策が展開されています。

一方、県においても、昨年3月
に改訂された「21おかやま森林・
林業ビジョン」に掲げる「豊富な
資源の循環利用による林業の成長
産業化」の実現に向けて、「伐って・
使って・植えて・育てる」という
林業のサイクルを循環させる施策
が推進され、間伐等森林整備の推
進、林業事業者の確保・育成はも
とより、少花粉スギへの植え替え
や再造林の推進、県産ヒノキ製材
品の海外等への販路拡大といった
マーケティング戦略の展開などの
取り組みが動き出しています。

これらの施策がより実りある成
果をもたらすためには、県の林業

普及指導の果たす役割は大きく、
技術普及はもとより、そのネット
ワークによる「人づくり」「地域づ
くり」が一層重要になってくるも
のと思われます。

当普及協会といたしましても、
これらの施策が地域に浸透するよ
う林業普及指導を支援、本格的な
利用期を迎えているヒノキ人工林
などの豊富な資源が積極的に活用
され、林業・木材産業が益々活気
づくよう取り組んで参る所存であ
ります。

会員の皆様からの一層のご支援、
ご協力をお願いいたしますととも
に、それぞれの分野で益々ご活躍
をお祈り申し上げ、新年のごあい
さつとさせていただきます。



木材共販日のご案内 岡山県森林組合連合会



本年もお引き立ての程、宜しくお願ひ申し上げます。

2/19 (金) 久米郡森林組合林業祭

〈津山共販所〉

2/23 (火) 特別市

〈新見共販所〉

2/26 (金) 特別市

〈勝山共販所〉



◆各共販所とも多くの出材をお待ちしております。

岡山・森林列伝

〔高梁普及指導区〕

はじめに

今回は、高梁市で長年にわたり磨丸太生産を続けておられる畑公平さん（62歳）を紹介します。

畑林業のあゆみ

畑さんの祖父が高梁市巨瀬町で林業と栗の栽培の二本立ての経営を始めました。次第に植林に軸足を移し、杉の付加価値を高めるために床柱用の磨丸太を始め、桁丸太などへも品目を広げられ、今日の「磨丸太の畑林業」に至っています。



上：店舗 下：畑さんと磨き丸太

畑さん自身、大学卒業後すぐ家業を継ぐべく帰郷し、以来、この道一筋40年、山の手入れと磨丸太に取り組んでこられました。『子供

とったからなあ。親の背中を見て……ということじゃろうな。』



枝打ち作業中の畑さん

磨丸太の技術

先々が磨丸太に着目し、父と二人で本場の奈良県へ絞り丸太の作り方、磨き方を学びに行かれました。失敗も数々あったそうですが、それをも糧とし、しだいに技を極めてこられました。

畑さんはその技術を受け継ぐとともに、新たな事業展開として桁丸太も手掛けられました。大径長尺であることから伐採搬出時に傷を付けないよう細心の注意を払う必要がありますが、それでも傷が付くこともあります。これに対処するのが「年輪剥き」という作業です。

傷の深さに応じて何年分かの材部を「銚（せん）」という道具で年輪に沿って剥ぎ取ります。これはかなり熟練を要する作業です。『例えば1年分の傷があったら2年分を削る。1箇所でも深く削ったら

もう1年分。それまで全部がパ。神経を使うんよ。』



年輪剥き作業と銚（右下）

また、『銚（せん）もいろいろ形があつてな。改良に改良を重ねて今の形。これが一番いいんよ。』と誇らしげに話してくださいます。

大切にしているもの

『人との繋がりがりじやな。先代とお付き合ひのあつたお客さんが声を掛けてくださる。ありがたいことです。お話しをもらったら先方へ出向いて施主さん大工さんの要望をしっかりと聞く。それぞれに好みや流儀があるからなあ。そして山で納得のいく木を選ぶ。うちの木は住宅の一部だけピタッとはまったときは何とも言えん。心を込めて仕事をせんといいことにならん。それがまた人との繋がりになる。何があっても要望に応えな

ければと肝に銘じて仕事に励んでるんよ。』

杉玉づくり

畑さんは、枝打ちした杉の葉を利用し、趣味で杉玉づくり始めました。最近では縁起物としても飾られるようになっており、県内各地での講習会や自分の山の見学会などでも指導されているのですが、多くの人に森林の大切さや森と関わる文化を知ってもらおうと熱がこもるそうです。



杉玉づくり講習会

おわりに

磨丸太の第一人者として活躍する畑さんは、研究熱心で話し好き。地域で愛され益々活躍されることを願っています。

（林業普及指導員 竺原光男）

普及指導区の情報
**「岡山市建部財産区・上建部
 財産区を中心とした取り組み」**
 【岡山普及指導区】

今回は岡山市の北部に位置する旧建部町の財産区に関わる活動を紹介します。

一 財産区の概要

岡山市北区役所建部支所管内に「建部財産区」と「上建部財産区」があります。合併前の建部村と上建部村がそれぞれ所有していた土地及び山林を、公有財産として管理する特別地方公共団体です。

各財産区の主な概要は、左表のとおりです。

財産区名	建部財産区	上建部財産区
設置年月日	S30.2.1	S30.2.1
所有山林面積	174ha	244ha
うち人工林面積	124ha	79ha
27年度予算額	23,113千円	35,611千円
うち林業関係予算額	16,660千円	29,502千円
27年度の森林整備面積	24.68ha	28.47ha
うち間伐面積	7.42ha	20.48ha

二 森林整備の実施

所有山林は、平成24年10月に森林経営計画を作成し、これに基づき岡山森林組合に施業を委託しています。平成27年度は、約6畝の新植、約28畝の間伐などを実施しています。

三 岡山大学農学部との森

岡山大学の学生などが、森林環境や林業活動の実践的な学習を行うことを目的に、上建部財産区有林1畝を対象として、昨年3月に「岡山大学農学部の森」協定を締結しました。



活動区域・境界の調査

財産区では活動場所を提供するだけでなく、林業普及指導員と連携を図って、教職員や学生に作業指導や助言を行うこととしており、自らの森林環境への理解が深まる機会にもなると期待されます。

四 ボランティア活動への支援

県内の森林ボランティアグループ7団体で構成される「森の育て親・建部」連絡協議会に対して、平成19年度から建部町富沢地内の上建部財産区有林の一部を活動拠点として提供しています。

加えて、地元団体の構成員として、炭焼き体験や森林施業の指導等を通じ、活動を支援しています。

なお、当協議会では年間約30回の活動のほか、恒例となっている春の「建部里山祭り」において、地域内外の親子が一緒に学ぶ環境教育を展開し、それらの活動が評価され、今年度の「生き生き岡山大賞」知事賞を授与されました。



炭焼き学習会

五 今後の展望

冒頭で示したとおり、両財産区

有林は、広大な面積を有し、旭川中流域の重要な水源地域となっています。当普及指導区では昨年秋季に、これらの森林管理や健全な財産運営を進める一環として、島根県奥出雲町「木の駅プロジェクト」の視察を中心とした合同研修を提案しました。



奥出雲町オロチの深山きこりプロジェクト視察研修会

研修会では「仁多郡林業研究グループ」の自伐林家によるC材等の搬出や、木材の地産地消の取り組みなどを学習し、これから財産区として解決すべき課題や、将来の目標について検討を行いました。

当普及指導区では今後も、財産区の適切な運営の助言に努めるとともに、更なる連携強化を図って、環境保全や地域活性化に協力・貢献したいと考えています。

(林業普及指導員 池田 稔)

普及指導区の情報
**「鏡野町林業研究グループ
 連絡協議会の活動」**
 【津山普及指導区】

一 はじめに

苫田郡鏡野町内の6つの林業研究グループ、鏡野町、作州かがみの森林組合、美作県民局森林企画課林業振興班で構成する鏡野町林業研究グループ連絡協議会（以下「林研協議会」）の活動を紹介します。

二 漁業関係者との連携交流等

苫田ダムの集水域にあたる鏡野町奥津地域では、平成20年度から漁業関係者と林業関係者が連携して森林整備に取り組んでいます。



平成27年7月14日下刈りのつどい
 漁業、林研、奥津小学校児童達

平成20、23、26年度に0.35畝を植栽して、毎年下刈り作業を行っています。岡山県漁業士会と作州かがみの森林組合の共催で、町も全面的に協力しています。林研協議会も参加し、エリアが広がり作業負担が重くなっていく下刈を慣れた手つきでこなしています。

作年度、作業の後に交流会を行ったことにより、山から海へも貢献できることがないかとの話になりました。

そして今年度、初めて吉井川下流域の日生漁業協同組合が取り組むアマモ場再生活動に参加協力することになり、6月のアマモ種採取には9名が、10日のアマモ種選別、播種には15名が参加し、海仕事を満喫しました。



6/13
 アマモ種採取



10/10
 アマモ種選別

また、個別の林研グループでは優良材生産の技術研鑽に取り組み

つつ、林研協議会では、地域内外へ森林の公益性を広報する方針をもつて活動しています。

三 鏡野町森づくり協議会への参画

昨年7月、鏡野町が町の森林、林業に関する施策展開を検討するための諮問組織として鏡野町森づくり協議会（以下「森づくり協議会」）を立ち上げました。町議会議員、森林組合、建築士、特用林産物生産者、町内会長らに加え、林研協議会から会長、副会長、代表的篤林家ら4名が参画しており、林研協議会の三木会長が森づくり協議会の会長を務めています。

四 合同視察研修会

森づくり協議会では、林業関係以外の委員にも、良い山づくりの事例を見ていただくことと篤林家の山林を視察しました。



また、優良材の需要先として重要な建築を知るため、伝統工法継承の取組を視察しようとの提案があり、例年行っている林研

協議会の先進地視察と合同で視察研修会を行いました。

兵庫県神崎郡の老舗建築会社の協力を得て、兵庫県加古川市の新築現場を訪ねました。木と土と石が継承していることはもちろん、2号線バイパス直近の住宅街という立地条件で、施主が30代と若いことにも勇気づけられました。



後日、棟梁が森林の勉強にと、鏡野の山を訪れてくれました。

五 終わりに

森づくり協議会では広範な意見が交わされています。町有林の木材を町の公共施設整備に活用すべきとの提言を受け、町担当課の調整により、町有林の伐採に着手したところです。

森林・林業に関する見識が活かされていくよう、林研協議会、森づくり協議会の益々の発展を期待します。

（林業普及指導員 小川章子）

特集 『ニューフェイスです』

（株）川木材

宝蔵 昌典さん（32歳）



新見市の（株）川木材に就職して2年目を迎えた宝蔵昌典さん（新見市神郷在住）を紹介します。

○経歴を教えてください

新見市神郷下神代で生まれ、地元で十数年勤めていました。しかし昔から新見の美しい山を見て育ったこともあり、山が大好きで林内での大型機械の作業等にも興味を持っていました。

そんな時に現在の会社の募集を知って就職しました。

○現在の仕事内容は

入社後、緑の雇用研修を受講するとともに、林業用機械の各種資格を取得しました。今は木質バイオマス発電用の林地残材の収集に専属で当たっていますが、この他にチェーンソー伐倒やフォワーダの搬出、グラップルによる原木の積み込み、そしてトラックでの運搬等、幅広い作業の経験も積ませていただいています。まだまだ一

人前には程遠いですが、日々勉強中です。

○林業の魅力や思いは

林業の魅力は大自然の中で仕事ができることです。新見市は面積の8割以上が森林で、林業が重要な基幹産業です。そういったことから将来性がありますし、新見の森林を元気にしたいという強い思いを持っています。

○今後の目標は

今後は木材の伐採を早く正確に行うこと、高性能林業機械をしっかりと扱え、少しでも早く会社の戦力になることが目標です。また、去年の3月に森林施業プランナーの資格を取りました。路網設計や間伐方法等の森林施業の内容など森林所有者に施業提案書を示し、施業の集約化を進めていける能力を身に付けたいと考えています。そして林業の再生に少しでも貢献していきたいです。

取材を通して、山のことをよく考え将来のビジョンをしっかりと持った誠実な方だと感じました。

今後、新見をはじめ岡山の林業の発展に貢献し、大いに御活躍されることを期待しています。

（新見普及指導区 鈴 博隆）

特集 『ニューフェイスです』

（株）いざなぎ 創林

中村 友彦さん（37歳）



昨年の2月に奈義町の（株）いざなぎ創林に就職した中村友彦さんを紹介いたします。

○経歴について

美作市出身です。林業関係の仕事の経験がなく、スポーツ施設のインストラクターや、農協のアルバイトをしていました。また自営業でポンポン菓子を作って販売していました。

○林業を選んだ理由

一昨年の11月頃、仕事を探していたとき、職場の同僚が、この会社に就職するということを聞き、私も紹介してもらいました。自然が好きで、機械が好きだったので、林業という仕事にあっていると思いました。また、就職の条件として、前からしていたポンポン菓子は続けたかったので、「休みの日ならいいよ」と社長の了解をもらったことも理由です。

○林業の体験

チェーンソーを使用したことはありましたが、林業で使う物は大きく、その重さにまず驚きました。伐倒作業では、思った方向に倒れない等、なかなか上手に伐ることできませんでした。

○林業の感想

就職する前から林業は危険だ、きついと聞いていましたが、想像以上でした。体力（筋力）はもろろん、思っていた以上に頭を使うことがわかりました。

○将来の目標

社長や先輩に少しでも近づけるようになりたいです。いつになるかわかりませんが、現場をまかせてもらえるようになりたいです。

○社長から一言

仕事を頑張っていて、吸収力が早く、前向きで真面目なので、今後2班体制になったときは班長をしてもらいたいと思っています。

取材では、質問に丁寧に答えていただき、山の仕事は忙しいが、やりがいがあると語ってくれた中村さん。今後の林業を担い、活躍されることを期待しています。

（勝英普及指導区 矢野舞依子）

専業・研究紹介

『おかやまグリーンバイオ・プロジェクトについて』

岡山県では、地球温暖化防止と地域産業の活性化に資する新産業の創出を目指して、平成16年度から「おかやまグリーンバイオ・プロジェクト」を推進しています。

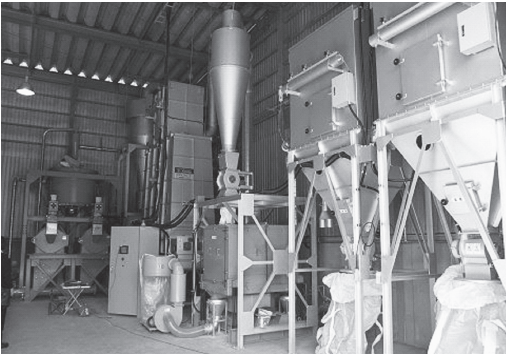
当プロジェクトでは、木質資源のカスケード利用の推進に向け、間伐材や製材端材などの木質バイオマスを活用した素材や製品の研究開発及び事業化の支援等を行っており、これまでに、高機能素材として注目されるセルロースナノファイバー（以下「CNF」※）の製造技術をはじめ、ウッドプラスチック製のパレット、うちわやクシなどの日用品、さらには、針葉樹を活用したキノコ生産など、幅広い分野で実用化が進んでいます。

（※）CNFとは、木質繊維を化学的、機械的に処理してナノサイズまで細かく解きほぐした極細繊維状物質で、軽くて強い、比表面積が大きい、熱による変形が小さい等の特徴がある。

○高機能素材の開発

平成22年度から平成26年度の間、国の支援を受け、県内外の企業や大学、国や県の研究機関、林業関係者の連携により、木材チップからのCNF製造技術や、製材所から発生するオガ粉を原料とする高規格木粉の製造技術を確立し、これらを原料とするバイオマス製品の社会導入を目指す実証事業に真庭市を拠点として取り組みました。

この成果により、間伐材や製材端材が効率的に集積する仕組みが構築され、平成25年からはCNFのサンプル出荷が、平成26年からはウッドプラスチック製品等の原料として、高規格木粉の販売がそれぞれ開始されました。



実証事業で整備した高規格木粉製造ライン（真庭バイオマス集積基地）

○CNFの実用化

CNFは製紙会社を中心に量産体制が全国各地で構築されつつあり、CNFを活用した新製品も市場に投入され始めているところです。

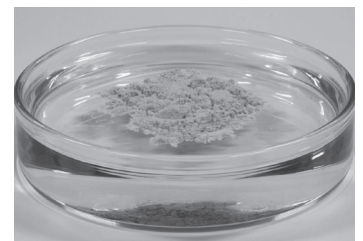
しかし、CNFの特徴である軽さと強度を活かしたプラスチック、樹脂などへの補強添加材としての用途に期待が高まるものの、国内で提供されているCNFの多くは含水状態であるため、疎水性であるプラスチックや樹脂などへの混練が難しく、未だ補強添加材としては実用化に至っていません。

当プロジェクトで支援する県内企業においては、本年度、CNFの疎水化に取り組み、いち早くCNFの粉体化に成功しており、これにより、自動車部材など大規模なプラスチック等市場での実用化に向け一歩前進したと言えます。

また、CNFの特性を生かした製品の開発も進められており、悪臭物質を分解する消臭剤の開発や、塗料の耐候性の向上など、様々な用途開発が行われているところです。

○川上〜川下へのマッチング

木質バイオマスを社会普及させ市場に浸透させるためには、素材を製造する側と活用する側が連携



疎水化により水をはじくCNF粉体（出典：モリマシナリー(株)）

して、より付加価値の高い製品を開発することや、その開発製品を効果的にPRすることが重要です。

岡山県では本年度より、「グリーンバイオ・プロジェクトコーディネータ」を設置し、県内のみならず広域でのマッチングやPRを行いつつながら木質バイオマスを活用した新産業創出の実現を目指していきます。

（産業労働部 産業振興課）



研究だより

『柿渋を用いた

内装用木材の着色』

一 木材を着色する意義

当研究室では以前、ヒノキ内装用板材を天然塗料（柿渋）により4種類に着色した内装モデルを作製し一般県民を対象に印象評価を行いました。その結果、着色によりヒノキの色の明るさを低下させると、無塗装の「繊細な・すつきりした」といった視覚的な印象が、「重厚な・深みのある」印象へ変化することが分かりました。つまり、ヒノキの本来の風合いを採用し難い空間でも、着色することで採用し得ることを示しています。

一方で、「落ち着く・好ましい」といった印象は、着色による色の変化とは関係なく、消費者の個人的な色の好みに影響を受けていました。つまり、ヒノキ本来の色合いを好まない消費者も存在するものの、着色することで採用され得ることを示しています。

このように、内装用木材を着色することは、多様なニーズに対応し、需要拡大を図るための有効な手法の一つであると言えます。

二 柿渋とは？

柿渋は、渋柿の未熟果を絞った果汁を発酵させて作られるもので、その歴史は古く、平安中期には、漁網・釣り糸・布・紙の耐水、耐久性向上を目的とした染料として、すでに利用されていました。江戸時代に入ると製業者が現れ、樽・桶、柱・壁の保護塗料の他、清酒やみりんの清澄剤など、食品分野へも利用され始めました。

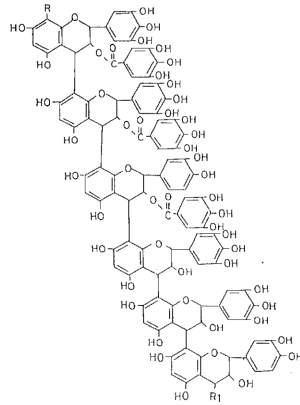


図1 カキタンニン推定構造式

これらの利用方法は、柿渋に含まれる、カキタンニンと呼ばれる高分子ポリフェノール（図1）の機能性を活用したものです。つまり、カキタンニンはその分子構造により、セルロースの物理的な補強やタンパク質凝集など様々な作用を発現する物質なのです。

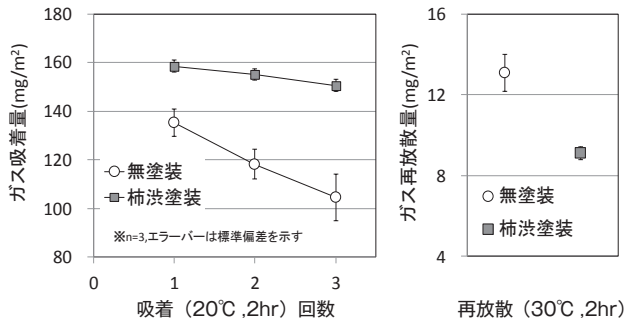
三 柿渋塗装内装材の実用化

人と環境に優しい天然塗料を用

い、無垢内装材の印象を変化させるだけでなく、室内環境改善機能が付与することを目的に、柿渋塗装内装材の開発を行いました。

柿渋は本来、茶褐色ですが、草木染めに用いられる媒染技術や他の植物染料を併用し、様々な色合いを出す塗装レシピを確立しました。これにより、スギやヒノキを用いて様々な室内様式にマッチする色合いの内装材が製造出来ます。

また、カキタンニンの有する機能の一つである吸着性に着目し、柿渋塗装内装材のガス吸着性能を



測定条件 吸着：試験体を投入した20°C、4ℓの密閉瓶に30%NH₃試薬を10μℓ滴下、吸着面積90cm²
再放散：3回目の吸着試験後、密閉瓶を30°Cに昇温し、放散量を測定

図2 柿渋塗装内装材のアンモニア吸着性能

調査しました。悪臭の原因物質であるアンモニアガスの吸着試験を行ったところ、図2に示すとおり、柿渋塗装した（ヒノキ）内装材が、無塗装材に比較し、より多くのアンモニアを吸着し、その後の再放散量も少ない結果が得られました。

また、一般的には塗装をすることで、木材本来の調湿（吸放湿）性能は低下する場合がありますが、柿渋塗装内装材の吸放湿性能は、無垢内装材と同等であることも分かりました。

このように、当初の目的を達成出来たことから、平成25年度に林野庁の森林整備加速化・林業再生事業（地域材利用開発）を活用し、柿渋塗装内装材の実用化に取組みました。現在、岡山高次木材加工協同組合（津山市くめ）において、県産スギ・ヒノキを用いた柿渋塗装内装材の受注生産が開始されており、津山市内の一般住宅等で実用化されています。また、岡山空港（国内線手荷物受取所の腰壁）にも採用されていますので、機会があればご覧ください。

（森林研究所木材加工研究室）

「平成27年度林業普及指導職員
中国・四国ブロックシンポ
ジウム」の開催について

去る10月8日、岡山コンベンションセンター（岡山市）において、中国・四国の9県の林業普及指導員等58人が参加し、「平成27年度林業普及指導職員中国・四国ブロックシンポジウム」が林野庁の主催で開催されました。



戦後造成された人工林が本格的に利用可能な段階を迎える中、森林の多面的機能の維持向上を図りつつ森林資源を循環利用し、林業の成長産業化を実現することが政策目標と定められ、これを実現するため林野庁では、平成23年度か

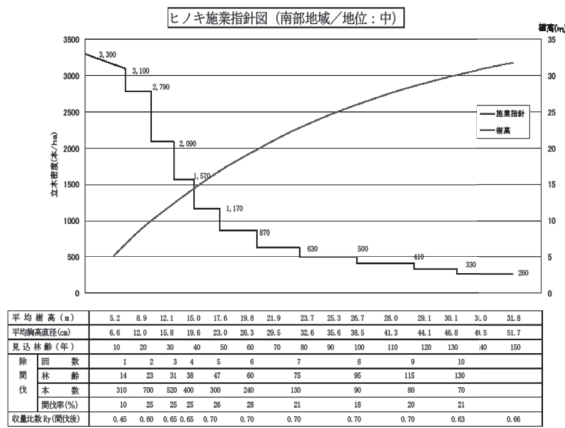
ら林業普及指導員のうち地域において先導的な役割を担う者を「森林総合監理士」と位置付け、シンポジウムにおける全国的な統一テーマを「林業普及指導事業における森林総合監理士等の活動の取組」として、各県の林業普及指導員等から活動報告がありました。

【岡山県の取組事例】

岡山県からは、牧本林業普及指導員が『「森林資源を地域の宝に」林業普及指導員としての取組〜森林を育て、木を使いきる〜』と題して報告をしました。



真庭地域でこれまで取り組まれてきた「施業指針の作成」や未利用間伐材等の木質資源の利活用、また、平成27年4月に稼働を開始した「真庭バイオマス発電」への燃料の安定供給システムへの支援について広く紹介しました。



【各県等の取組事例】

各県からは、施業集約化と森林専用道の開設、地域材の円滑な供給、林業事業等の担い手対策への取組など地域の抱える課題を洗い出し、課題解決の手法や取組について報告がされました。

【取組事例に対する全体討議】

各取組事例の報告後、各報告者に対して参加者から、課題解決に向けた取り組みの手法等について、熱心に意見交換が行われました。この後、審査により最優秀賞として鳥取県が選出され、全国シンポジウムへ出席されることとなりました。当県は惜しくも優秀賞となりませんが、今後も常に地域の課題点を把握し、解決のために方策を考え、そして実行する普及活動により、利用可能な段階を迎える森林資源の循環利用を図っていきたく考えています。



(林政課普及指導班)

★お知らせ★

平成27年度
森林研究所研究成果発表会の開催

岡山県農林水産総合センター森林研究所では、これまで取り組んできた研究成果を関係業界や一般県民の皆様に分かりやすく紹介し、理解と関心を深めてもらうため、次のとおり研究成果発表会を開催します。また、研究成果発表の後に、当研究所副所長の河崎が「最近話題の木質資源利用」と題しCLTやバイオマス燃料などについて解説いたします。

- 一 開催日時
平成28年2月17日（水）
13時30分から16時
- 二 場所
赤磐市神田沖1-174の1
「農業大学校研修交流ホール」
- 三 内容
○研究成果発表
①「スイングヤーダを用いた伐倒同時集材方式の実証試験」
林業研究室 片桐研究員

②「割れた木で住宅を建てると危ないか」
木材加工研究室
小玉特別研究員

○技術講演
「最近話題の木質資源利用」
（CLT・バイオマス燃料など）
森林研究所
河崎弥生 副所長

○ポスター発表
研究成果をわかりやすく研究員が解説いたします。

参加ご希望の方は、森林研究所まで電話、FAX、メールにてご連絡願います。
〒709-4335
勝田郡勝央町植月中1001
農林水産総合センター森林研究所
電話 0868-38-3151
FAX 0868-38-3152
メール ringyo@prefokayama.lg.jp



昨年のポスター発表の状況



昨年の研究発表会の状況



緑豊かな自然を守る

治山・林道事業の普及啓発、技術援助
治山・林道の調査、測量、設計、積算
森林整備・森林公園の総合計画

一般社団法人 岡山県森林協会

岡山市中区高屋 225-1 TEL 086-271-3711
津山市二宮 1849-2 TEL 0868-28-9360

技能講習会の開催(2~3月)

※詳細は申込先にお問い合わせください。

名称	会場	日程	申込・問合せ先
小型移動式クレーン運転	岡山	3月10, 11日	(社)岡山県労働基準協会 TEL (086) 225-3571
	津山	2月24, 25日	
玉掛け	岡山	2月4, 5日・3月3, 4日 3月5, 6日	
	津山	2月22, 23日	
移動式クレーン運転士		3月8日	中国四国安全衛生技術センター TEL (084) 954-4661
はい作業主任者	岡山	2月24, 25日	陸上貨物運送事業労働災害防止協会 岡山県支部 TEL (086) 234-1332

森林・林業関係イベント参加募集

開催日時	場所	行事名称・内容	問合せ・申込先等
2. 6 (土)	共生の森・柵原 (美咲町書副)	保育のつどい (間伐、きのこ植菌等)	久米郡森林組合 TEL (0868) 66-0053
2. 6 (土) 10:00~12:00	岡山市立旭公民館 (岡山市北区広瀬町)	木育教室(森のお話と木工作)	岡山市旭公民館 TEL (086) 224-0515
2. 9 (火) 13:30~16:30	岡山県農林水産総合センター 森林研究所 木材加工研究室 (真庭市勝山)	人工乾燥材生産技術研修会	岡山県木材組合連合会 TEL (086) 231-6677
2. 13 (土) 9:30~15:30	高梁美しい森 (高梁市松山)	マツ林整備(広葉樹の除去・搬出、 土壌改良材の施用)	NPO法人フォレストフォーピープル岡山 TEL (0866) 22-1000
2. 20 (土) 13:00~16:30	岡山県立美術館ホール (岡山市北区天神町)	おかやま CLT 建築シンポジウム	岡山県建築士事務所協会 TEL (086) 231-3479
2. 22 (月) 13:15~17:00	メルパルク OKAYAMA (岡山市北区桑田町)	セルロースナノファイバー実用化 セミナー in おかやま	岡山県産業労働部産業振興課 TEL (086) 226-7380
2. 28 (日) 10:00~13:00	草間台エコミュージアムセンター (新見市草間)	キノコの植菌体験	草間台エコミュージアム推進協議会 TEL (0867) 74-9001
2. 29 (月) ~3. 4 (金)	岡山県庁1階県民室 (岡山市内山下)	「おかやまの森フォトコンテスト」 入賞作品展示	岡山県農林水産部林政課 TEL (086) 226-7451
3. 6 (日) 10:00~13:00	玉野市宇野4丁目 雑木林・竹林	山道整備、竹割り・竹炭焼き体験	玉野【里山★玉仙岩】の会 TEL (0863) 31-4115
3. 6 (日) ~3. 12 (土)	津山圏域雇用労働センターほか (津山市山下)	林業インターンシップ	津山市地域雇用創造協議会 TEL (0868) 24-3633

—— 安全・人と自然・調和 ——

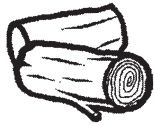
造林木を野生動物の食害から守る

〔野生獣類忌避剤〕 **コニファー水和剤** 〔幼令樹保護カバー〕 くわんたい
 〔樹皮食い防止に〕 **バークガード** 〔野生草食獣食害防止〕 **防獣ネット**
 〔クズ専用除草剤〕 ザイトロン・ザイトロンフレノック・ケイピンエース
 〔樹幹注入剤〕 センチュリーエース ★新発売★マッケンジー注入剤

(お問い合わせ申し込みは県森連・森林組合へ)

販売元：日植アグリ株式会社
TEL：086-292-5525

大同商事(株)大阪営業所
TEL：06-6231-2819



林産物市況



木 材 (12月9日)

単位：千円/m

樹種	長さ	径 級	直 材	小 曲 り	樹種	長さ	径 級	直 材	小 曲 り
杉	3m	14～16	10	6	檜	3m	14～16	18	14
		18～20	9	6			18～20	16	14
		22～28	12	10			22cm上	15.5	14
	4m	18～22	9	8.5～		4m	16～18	18	9～
		24～28	10	8.5～			20～22	16	14
		6m	16～18	15			10	24～28	17
松	3m	18～22	12	10	6m	14～16	14	6～	
	4m	18～22	12	10		18～20	28	8～	
・出荷材積 約 2,300 m ³									
(共販所より概況)									
杉概況：					桧概況：6mの造材は末口18～20cmで				
柱材 横這い					【3m】 柱材 横這い				
中目材 横這い					【4m】 柱材 横這い				
元木 横這い					中目材 横這い				
松概況：					元木 横這い				

資料：岡山県森連勝山木材共販所市況速報、価格は中値。

製 材 (1月7日)

単位：円

樹 種	寸 法	等級	区分	安値～高値
ス ギ	正角 3m 10.5cm 角	特等	K	50,000 (直送)～55,000 (市場)
	正角 3m 12cm 角	特等	K	50,000 (直送)～55,000 (市場)
ヒノキ	正角 3m 10.5cm 角	特等	K	55,000 (背割有)～60,000 (背割無)
	正角 3m 12cm 角	特等	K	55,000 (背割有・無)
マ ッ	平角 4m 10.5～12cm×15～18cm	一等	K	75,000
米マツ	正角 3m, 4m 10.5cm 角	特等	G	52,000～54,000
	平角 3m, 4m 10.5×15～21cm	特等	G	54,000～
北洋アカマツ	タルキ 4m 3.8cm 角	特等	K	70,000～75,000
ホワイトウッド	間柱 3m 2.7cm×10.5cm	特等	K	57,000

注1：価格は、岡山県内の市場の相場を参考とした。

注2：区分のKとは人工乾燥材、Gとは未乾燥材のこと。

日本植生は環境緑化技術を創造し、地球環境の保全に貢献します。

間伐材利用植生基材マット	間伐材利用植生マット	間伐材利用生分解型植生マット	間伐材利用生分解型植生シート	間伐材利用植生シート
グリーンフォームマット 〔切土軟岩用〕	森樹郎マット 〔切土土砂用〕	森樹郎マット21 〔切土土砂用〕	張りウッド 〔盛土用〕	ハリシバモック 〔盛土用〕

岡山県エコ製品
NETIS登録：CB-010046-A 間伐材利用植生マット工法「森樹郎(シンキロウ)マット工法」

「岡山県エコ製品」の認定を受けた5品目
間伐材を有効利用した環境緑化資材です。

太陽と緑の国づくり
Nihon 日本植生株式会社
http://www.nihon-shokusei.co.jp/
津山支店 / 津山市高尾 573-1 TEL (0868) 28-0256
岡山事務所 / 岡山市北区芳賀 5325 TEL (086) 294-1000

木を通して環境保全に貢献しています



公園修景施設・土木用資材
防腐処理・ログハウス・デッキ

さんもく工業株式会社
〒702-8045 岡山市南区海岸通2丁目6番3号
TEL 086-262-0137(代) FAX 086-262-0130

優良種菌で確かな収穫

もりのたねごま

◆シイタケ、ナメコ、ヒラタケ等の品種の選定及び栽培管理についてなんでも御相談下さい。

製造 森産業株式会社
総発売元

岡山営業所 岡山市北区辰巳46-104
TEL 岡山(086)805-7033(代)

「緑の募金」 ご協力をお願いします

緑の募金でふせごう地球温暖化

募金期間
春のみどりの月間 4月1日～5月31日
秋のみどりの月間 10月1日～10月31日

口座振込はこちらへ

ゆうちょ銀行	01270-0-5225
中国銀行岡山駅前支店	1852041
トマト銀行岡山駅前支店	1027972

 寄付金に対する税の優遇措置が適用されます。

公益社団法人 岡山県緑化推進協会
岡山市北区錦町1-8 TEL・FAX (086) 221-9511



CT-500B GP-532 小型ハイパワープロセッサ



shindaiwa

高性能大型林業機械から電動工具まで何でも揃う

美津吉商事株式会社
津山市一方194 〒708-0883 TEL(0868)23-2255
<http://www.mitsuyoshi.com/>

サンケイの松くい虫防除薬剤

多目的使用（空中散布・地上散布）ができる

スミパイン® 乳剤・MC
積れる松枯れ防止用散布剤

モリエート® SC
ナラ枯れ予防用樹幹注入剤


ウッドキング® DASH

伐倒木用くん蒸処理剤
キルパー® 40
伐倒駆除剤

パインサイド® S油剤D
樹幹注入剤

グリーンガード® ファミリー

お問い合わせは最寄りの県森連・森林組合へ

 **サンケイ化学株式会社**
大阪市淀川区西中島4丁目5番1号 Tel.(06)6305-5871

平成二十八年一月一日（第四四五号）
（隔月一日発行）



緑あふれる環境づくり

株式会社 山都屋

本社 〒703-8273 岡山市中区門田文化町2丁目11番51号
TEL (086) 272-2161 FAX (086) 272-2142
http://www.yamatoya-net.com
大阪営業所 津山営業所 水島営業所

安心と信頼の証を届けます



創業以来、永年に渡り体育器具・遊具を製作してまいりました。地元メーカーとして責任ある製品作りに取り組み、安心と信頼を皆様にお届けします。

日本体操協会器械器具検定工場・日本公園施設業協会認定工場

OHKUBO 大久保体育株式会社

■本社 〒703-8214 岡山市東区鉄409 TEL (086) 279-0585 FAX (086) 279-0460
■倉敷営業所 〒710-0312 倉敷市藤戸町天城1021-1 TEL (086) 428-7576 FAX (086) 428-6153
■東京営業所 〒201-0003 東京都江戸市和泉本町1-21-1(201) TEL (03) 5761-9577 FAX (03) 5761-9587



森林保険

加入できる森林は？ 人の手が加わった森林
加入期間は？ 1年単位で何年でも！
保険金がでるのは？
火災、風害、水害、雪害、干害等気象災の損害があったとき、森林所有者に支払われます。
岡山県では過去5年間で約6千万円の保険金が支払われました。

ご契約のモデルケース（1haあたり）

樹種…ヒノキ 契約時林齢…1年
保険期間…5年 保険金額…最大188万円
一括払いだと 21,225円（5年間計）

樹種…ヒノキ 契約時林齢…26年
保険期間…5年 保険金額…最大299万円
一括払いだと 37,375円（5年間計）

1ヶ月あたり
約350円

わずかにビール
1本分

1ヶ月あたり
約620円

わずかにラーメン
1杯分

- 保険金額を50%にすることにより、保険料を50%にすることも出来ます。
- 条件によって契約金額が変わってきます。

○お申し込み、お問い合わせはお近くの森林組合まで。

事務局からのお知らせ

事務局では、会員の方からの紙面に対するご意見・ご要望やイベント情報等、身近な話題の投稿をお待ちしております。

また、新規会員も継続して募集しておりますので、よろしくお願いたします。

お問い合わせ・連絡先

〒700-0824

岡山市北区内山下2-4-6

岡山県庁林政課内

岡山県林業改良普及協会

電話 086-2226-7451

FAX 086-2221-6498

メール ringyo@pref.okayama.lg.jp

【編集後記】

・「仕事で、「林業担い手」とパソコンで打つと「林業に泣いて」と変換されました…。担い手の方々が笑顔でいられるような環境づくりに努力しなさい、と天の声であったと心得ました。

（I）
・近年、森林・林業・木材産業が大変注目されています。この流れに乗って、子供から大人まで、もっと森林等について理解を深めていただけるよう頑張ろうと思っています。

（M）



この用紙は、日本の森林を育てるために間伐材を積極的に使用しています。（間伐材10%+古紙70%）

